

## 「日本女性会議2025檀原」第7回実行委員会報告

全文(公開用)

<b>1 開催日時</b>	令和7年5月27日(火) 午後2時~4時00分
<b>2 場所</b>	大和信用金庫八木支店3階第1会議室
<b>3 出席委員</b>	24名
<b>4 欠席委員</b>	2名
<b>5 事務局</b>	8名(檀原市企画戦略部、人権政策課)

### 6 各部会進捗報告

#### (1) 総務部会

##### 【事務局報告】

第5回総務部会を2025(令和7)年3月11日(火)16:00~、第6回総務部会を同年5月7日(水)10:00~、それぞれ開催。

第5回総務部会では「協賛金について」を議題とした。

第6回総務部会では「2024年度事業報告・決算報告について」、「協賛金・寄付金の申込状況について」を議案とし、資料のとおり説明のうえ、承認を得た。また、「ボランティアの募集について」、「参加受付システムについて」を報告した。

#### (2) 企画部会

##### 【事務局報告】

4月18日、第8回企画部会を開催。各分科会進捗状況についてと、大会運営委託業者を交えた大会当日の会場レイアウト決定に向けて説明し、承諾。

全体会の「檀原大会シンポジウム」登壇者について、当初予定していた、檀原市出身のメダリスト高橋礼華さんが、急遽ご家庭の事情でキャンセルとなり、ジェンダー平等意識の向上に向けた啓発活動もされている、元プロマラソン選手の有森裕子さんを新たな登壇者として書面決議を行い、実行委員全員の承認をもって決定。

5月24日(土)に開催した「1day ジェンカレ in 日本女性会議 2025」を、10月4日の全体会「記念シンポジウム」のイベントとして開催し、県内の学生29名が参加。参加者の中から「記念シンポジウム」登壇者を、当日のアンケートと後に提出する「ジェンダー平等に向けての取組など」の報告を基に、講師、正副実行委員長、正副企画部会長、事務局等で審査し、4名を選定予定。

分科会テーマについて、分科会3『生き方×働き方「なりたい自分」』と8『はたらく女性輝く会議』の内容等を精査し、よりわかりやすいよう、資料内赤字記載のとおり修正。なお、市の広報誌については修正前の内容を掲載しているが、大会パンフレット及び大会HPは、こちらのテーマ名で掲載。

#### (3) 広報部会

## 【事務局報告】

第8回広報部会4月21日(月)に開催。広報計画と各進捗状況について承認を得た。

各種イベントでのPR、HP、Instagramを含めたweb広報、広報誌、フリーペーパーでの掲載、チラシ、ポスターの各地掲示等を実施予定。

広告について、参加者の年齢層も加味して新聞広告も実施し、運営業者と連携したフリーペーパーやSNS等のweb広告と併行して進める。

既にあるノベルティは不足が無いよう随時追加のうえ、新しいものも検討。

チラシ、ポスター、HP、エクスカージョンについても、リリースに向け進捗を報告。

## 【意見】

(委員長)

全体会スケジュール案について、アンミカさんの特別講演会の後に記念シンポジウムがあるが、以前から意見があるように、特別講演会の後、最後まで残ってもらうための工夫があってもいい。(記念シンポジウムが)100分は大学の講義(90分)と比べても長く、残ってもらうのは大変。今回は議題としないがまた検討いただきたい

## 7 議事

(1) 議案第1号 2024年度 事業報告・決算報告について

【議決の結果】:承認

【経過】:

(事務局)

2024年度の活動報告について、実行委員会、各部会、プレ大会をそれぞれ開催し、また、運営委託業者の決定、協賛金の募集、各種大会PR等を実施。

2024年度決算について、収入決算額7,992,898円、支出決算額6,046,661円として報告。

(委員長)

監事より監査報告をお願いします。

(監事)

2024年4月1日から2025年3月31日までの企業年度における会計の監査を実施いたしましたので、その結果を下記の通りご報告いたします。

会計について、帳簿の関連書類により監査を行った結果、いずれも適正に管理処理されているものと認めます。

(2) 議案第2号 2025年度 事業計画・事業予算(案)について

【議決の結果】:承認

【経過】:

(事務局)

「2025年度事業計画案」について、今年度実行委員会、各部会をそれぞれ3回開催予定。

日本女性会議について、10月3～5日にわたり、各会場にて分科会、全体会、交流会、かしはら未来会議、エクスカッションを開催予定。参加者の募集は事前申込制とし、6月2日～8月20日、大会HPにて受付。対象は10月3日の分科会、10月4日の全体会。一般枠は参加費5,000円、市民に多く参加いただくため上限200名の市民枠を、参加費4,000円で予定。さらに、シンポジウムの学生登壇、これからの男女共同参画社会の実現を担う若者に多く参加いただくため、参加費無料の学生枠を設定。

協賛・寄付等の募集を前年に引き続き実施。物価高騰から当初の想定以上に経費が必要と判断し、協賛・寄付の目標額を従前のおり1480万円とする。過年度の実績額は2023年度は150万円、2024年度は500万3千円。2025年度は残額約830万円を目標とする。詳細は、議案第3号にて説明。

大会PRについて、10月に向けて、HP・SNS、イベント、全国市町村、関係機関への周知を実施。

続いて「2025年度事業予算案」について、予算総額は3463万6237円。前回実行委員会からの変更点として、収入面が奈良県からの負担金150万円追加及び、前年度繰越金が194万6237円に変更。支出では予備費として256万9237円を新たに計上。

(委員)

資料4 事業計画案について、報告書の記載がないが、最終的に大会報告書は作成しないのか。

(事務局)

大会報告書は大会終了後の2月～3月を目標に作成予定。記載がなかった点は申し訳ないが、作成することが正しい。

(委員)

(事業計画書を)修正するという事でよろしいか？

(事務局)

修正する。

### (3) 議案第3号 協賛金・寄付金の申込み状況について

**【議決の結果】:承認**

**【経過】:**

(事務局)

協賛金・寄付金の申込み状況について、目標額は1480万円。5月26日現在で、2023年度1件150万円、2024年度30件500万3千円2025年度53件の460万5千円、合計84件1110万8千円の協賛・寄付を受入。そして協賛・寄付の申込件数16件296万円。

受入分、申込分の合計が100件1406万8千円となり目標額との差額73万2千円。

(委員)

資料4では2025年度見込額830万円とあるが、資料6の2025年受入額460万5千円と見込額296万円の合計と一致しない。どちらが正しいか？

(事務局)

資料 4 の 830 万円は目標額。資料 6 の受入額、見込額は受領済分と、入ることが固まっている分のことを指す。

(委員)

資料 6 の見込額 296 万円について、もうこれ以上増える見込みはないということか。

(事務局)

現在、総務部会、事務局を中心に、商工会議所にもご協力いただき、かなりの件数を回っている。そのため、未だ申込はないが声掛け中の所もあるため、目標額についてはほぼ目処がついている。

しかし後ほど報告するが、今後参加募集の呼びかけをしていくにあたり、参加者数が伸び悩むと歳入減、ひいては予算執行額見直しの恐れがあるため、目標額を上回っても 6 月末までは協賛の呼びかけを継続していく。

(委員)

わかりました。

(委員長)

総務部会から何かご連絡はあるか。

(委員)

残り少しではあるが、入場者数によっては不足もあり得るため、委員の皆様におかれても各所属団体にご協力いただきたい。ラスト 1 ヶ月、よろしくお願いします。

(委員長)

自分も関係各所に声掛けを行っているが、具体的な案内等で事務局につなげばよいかわからなくなることもある。今後は参加募集も含め、協賛寄付についても一丸となって奔走しなければと思う。委員各位におかれてもご協力いただきたい。

#### (4) 議案第4号 交流会の内容について

**【議決の結果】:承認**

**【経過】:**

(事務局)

交流会は会議初日の 10 月 3 日 18 時半～20 時半、グランドメルキュール奈良橿原にて開催。スケジュールは資料記載のとおり。出席者数は全体で 250 名、参加費は 1 人 6,000 円。

広報部会にて食事や交流の時間が少ないとの意見があり、参加者交流の時間を 25 分に拡大。アトラクションの演目は車いすダンスで、障がいの有無に関わらないダンスパフォーマンスで参加者の人権意識の向上も図る狙い。

#### (5) 議案第5号 かしはら未来会議について

**【議決の結果】:承認。**

**【経過】:**

(事務局)

進捗状況について、公式HPにて県内在住、在学の中高校生向けに参加公募を開始し、また市内中学校・高校への参加呼びかけも継続。その結果、新たに八木中学校より参加に向け前向きな声をいただいている。公募は6月25日まで継続予定。

また併行して、参加決定校への本番に向けた説明を実施。今後は、7月頃に参加校を最終決定し、9月頃にプレゼン内容の事前確認を行い、本番に望む。また、現在運営に伴走している業者とともに登壇するモデレーターについても調整中。

(委員長)

公募申込は資料裏面のQRコードを読み取れば良いのか。

(事務局)

ご高察のとおり。

(委員長)

当日の詳細は決定した後、委員会にて報告があるのか。未来会議は1,2日目の女性会議、ジェンダーの内容とは少し質が違うため、つながりが分かりづらい。浮いて見えないよう、情報は調整後順次ご報告いただきたい。

(委員)

参加校について、畝傍高校や桜井高校等に打診は行ったか。

(事務局)

市内学校については実施。畝傍高校については調整中。

(委員長)

これも全国の参加者が参加可能か。

(事務局)

登壇は県内のみだが、観客は住所等に関わらず全国から参加可能。

(委員長)

そこのところもわかりやすいように広報を工夫し、5日だけ違うものに見えないようしていただきたい。

## (6) 議案第6号 全体会「物産コーナー」について

**【議決の結果】:承認**

**【経過】:**

(事務局)

資料9物産コーナーについて、物産を10月3日(金)11時~18時半、及び10月4日(土)11時~18時に、いずれも奈良県橿原文化会館内、グランドホールにブースを設け開催予定。

グランドホール内で最大16ブースを想定。内容は橿原ブランド認定品、橿原市ふるさと納税返礼品等。橿原市地域振興課を介して公募申込を予定。

(委員)

このブース出展は有料か。またその設えは誰が行うか。場合によっては予算に計上しなければな

らない。また、文化会館前庭を使うのか否か。さらに、先ほどの報告書の件で、予算に反映されていないが予備費で賄うのか。

(事務局)

まず、物産コーナー出店は無料。また準備等について実行委員会の費用負担はなし。よっていずれも予算には計上されない。次に文化会館前広場について、市内部局(スポーツ推進課等)とともに日本女性会議とは別事業として、檀原市としてにぎわいを創出できる、ニュースポーツ等の催しを内部検討中。

(委員長)

前庭は雨の場合が懸念されるが、前庭のニュースポーツと室内のブースをうまくつなげ、賑わいを作りたい。

(委員)

前庭の部分は未定ならば、今後、内容の決定後に次回の実行委員会等で報告があるのか?

(事務局)

ご高察のとおり。今後確定すればご報告させていただきます。

(委員)

報告書が予算に反映されていない点は?

(事務局)

印刷製本費内に予算計上しているが、物価高騰により全額が賄えない懸念があり、予備費を充当することを想定している。報告書については一部HP上での公開も視野に、発行部数の調整も検討して実施したい。

(委員)

資料内の印刷製本費 165 万 2 千円の内容に報告書の記載がないから、予備費から充当するのか?と聞いた。元々計上しているのであれば記載していないとおかしい。

(事務局)

大会報告書については、予備費も使わせていただく見込。

(事務局)

前庭の催しについて、ニュースポーツだけでなく、それ以外も検討中である。具体的な内容は調整中だが、日本女性会議とは別事業だが、いずれも賑わいをもたらすようなものを想定している。

(委員長)

あくまで賑わいの創出として、女性会議と付随せず全く別物としてやるのか。多くの場合は連動するものであると思うし、参加者には同じものに見えるのでは。

(委員)

せっかく来られた方にニュースポーツ(体の不自由な方もできるスポーツ)を紹介するもの。またさらに別のイベントを同時開催することも検討中。別物というのは、実行委員会とは予算建が別という意味。予算は別だが、女性会議に来た人、また市民が広く集まれる。体の不自由な方にも幅広くご参加いただける点で、女性会議テーマである多様性とも結び付くもの考える。

(委員長)

女性会議の大きなテーマは多様性。分科会ではないが、位置づけ上は女性会議とするとわかりやすいのでは?今後位置づけについては市で検討を。

(事務局)

検討する。

(事務局)

先ほどの印刷製本費について、予算の印刷製本費内に報告書は含まれている。だが、物価高騰のため印刷製本費内で賄えない可能性があり、予備費を使いたい旨説明した。

### (7) 案第7号 ボランティアの募集について

**【議決の結果】:承認**

**【経過】:**

(事務局)

ボランティア募集人数については前回報告時から変更なし。

募集方法について、5月8日のプレスリリースと同時にHPで募集を開始し、現状2名申込。来月以降、県内大学や高校(実行委員の所属大学やかしはら未来会議参加高校が中心)への依頼を検討。他、募集状況を見てボランティア団体や男女共同参画団体への協力依頼も検討。申込期限は7月31日(木)。

ボランティア待遇は、報酬・交通費なし、お茶・昼食の支給、ボランティア保険加入等。

(委員長)

プレ大会のボランティア参加者等から、プレ大会時は自分の役割以外の場面で会場の催しに参加できたが、本大会は自分の担当以外では分科会、全体会に参加するためには参加費を払わなければならないことがわかっていない人もいと聞いた。そこをはっきりと案内していただきたい。

(事務局)

まず本大会については原則、参加費を払って多くの方にご参加いただきたい。そのうえでボランティアにご参加いただくことも大変ありがたいが、ボランティアの役割分担は運営者とともにごちらで行うため、ご参加とボランティアいずれもされる場合は、振られた役割時間以外でのご参加となる。

その点についてははっきりと案内していきたい。

(委員)

学生にとっても参加だけでなく、ボランティアもとても良い経験になると思うので、ボランティアは積極的に呼びかけたい。そのうえで、行ける日には参加もよびかけるような形でよいだろうか。

(委員長)

おっしゃる通り。ボランティアとして参加することで会場の雰囲気もわかりますし、課題も出てくるかもしれない。事務局の方もよろしく願います。

### (8) 議案第8号 参加者の呼びかけについて

**【議決の結果】:承認**

**【経過】:**

(事務局)

各分科会の定員について、大会場は収容人数の 8 割、小会場については収容人数のまま設定。

各分科会担当団体にて参加募集の呼びかけを行うが、大会場については自組織のみで賄うのも難しいため、その他の実行委員ご所属についても参加者の呼びかけをお願いしたい。

(事務局)

大会の受付方法について、配布資料にて 6/2 開設予定の申込フォームでの流れを記載。

(委員)

もしまだ変更の余地があるならば、分科会会場が別にあることが選択画面上はわかりづらい。

前半後半で 1 時間の開きはあるが、歩きで行ける距離でもないため、この部分のケアをしないとクレームにつながる恐れがある。

(事務局)

システムは仕様変更のメ切を超過しており変更が難しいが、業者には共有しておく。そのうえで、HP, チラシなどでフォローしていきたい。

(委員長)

各委員のご所属団体から関連のある分科会へご参加を呼びかけられないか。それぞれで目安として最低 20 名程度呼びかけできれば望ましい。可能ならばこの場で各団体について、参加呼びかけできる見込みを教えてください。

(委員)

檀原商工会議所については、分科会 8 はたらく女性輝く会議について、日本商工会議所等、関係機関への働きかけを行っており、550 名はとれる想定。分科会 8 についてはお任せいただきたい。

また、事務局に後程ご回答いただきたいのだが、分科会の会場について、文化会館と社会福祉総合センター間の移動が公共交通機関だけというのはしんどいように感じる。有料でもバスのチャーターなどできないか。交流会会場への移動についても同様。

(委員)

檀原市青年会議所については、会員 60 名とその従業員などにこれから働きかけていく。今後何人であるとか、どの分科会へ参加するか等が固まってくればまた共有する。

(委員)

万葉ゾンタクラブでは、会員全員に声をかけているが、どの分科会に出席するかはまだ確認できていない。

(委員)

国際ソロプチミストについても、会員とその他の会にも声掛け、20 名以上を目指す。

(委員)

天理大学に関しては、まず学生は無料枠だが全体会の企画内容に携わっているため、全体会への学内へ参加をよびかけている。それ以外には教職員へ呼びかけも実施するが、土日のため参加

は難しいかもしれない。

(委員)

観光協会ではまだ声かけはしていないが、ボランティアガイドの方 50 名等に、歴史分野への参加を呼び掛け。20 名以上の参加を目指したい。

(委員)

奈良芸術短期大学では、学生 300 名と教員へすでに呼びかけを行っているが、分科会は金曜日のため学生の参加は難しいかもしれない。ボランティアへの参加も呼び掛けていく。

(委員)

NPO 法人人材育成・雇用協議会では、声掛けもしているが働いている方がほとんどであるため、金曜の分科会参加は難しい

(委員)

奈良県高等養護学校では教員へ声掛けはしているが、金曜日の分科会への参加は厳しい。また、4~5日も土日出勤となるため動員させることは難しい。今後も極力声掛けは行っていく。

(委員)

奈良県立高等技術専門校については、あくまで奈良県の中の 1 組織であるため、奈良県として扱っていただきたい。所属職員の数も少なく、団体としての活動は難しい。

(委員長)

取扱いについてはまた事務局とも協議する。

(委員)

奈良県、子ども・女性課はすべての分科会と関連がある。また、広報誌への掲載はできなかったが、県公式LINEも活用し、広報を行っていく。さらに、庁内及び各関連団体への周知や、全国の男女共同参画担当課メーリングリストも活用し、各地の男女共同参画団体へのPRも実施予定。

(委員長)

各自治体への周知は県から行うのか？

(事務局)

橿原市から各地の女性センターと担当課に対し案内を行う。

(委員長)

県とも連携し、できるだけ多く参加を呼びかけたい。

(委員)

橿原市社会福祉協議会の職員には声掛けし、関係する分科会へ数名参加すると聞いている。その他 6 月の理事会でも事務局と連携し多くのご参加を募りたい。

(委員)

6 月末に奈良県女性センターで男女共同参画週間イベントが開催される。その時に女性センターに依頼し、チラシをイベント参加者にお渡ししてはどうか。

(委員)

橿原市からチラシをもらい、手配する。

## 8 その他

### (1) 庁内組織体制について

#### 【事務局報告】

(事務局)

資料 12 のとおり、日本女性会議の開催に当たり、実行委員会事務局(人権政策課内)のみではマンパワーが不足しているため、檀原市庁内での組織体制を立ち上げ、本部長たる副市長を筆頭に、10月3～5日に統括として各担当副部長、その下に運営として各担当部局の職員を配置。具体的な配置については資料 13 のとおり。

### (2) 大会当日の参加意向について

#### 【事務局報告】

(事務局)

実行委員各位について、原則は開催日の3日間全てにご参加いただきたいが、ご都合もあるかと思うので、参加される時間を事前に聴取する。資料又は後日公開するフォームにて、6月30日までにご回答いただきたい。参加費について、分科会全体会は無料だが、交流会については6000円のお支払いが必要となる。申込については後日事務局より案内する。

#### 【意見】

(委員)

学生の参加無料枠について、大会テーマも鑑みて、より多くの若い世代に素晴らしい体験をしていただきたいので、上限が埋まるかはわからないが、場合によっては200枠以上に拡大もご検討いただきたい。

(委員長)

会場間移動について、バスを用意することは可能か。

(事務局)

現状は、時間内に余裕をもって移動可能であるため、申込サイト等での公共交通機関の経路案内のみを想定。バスを用意する場合別途予算に計上する必要がある。

(委員長)

今後参加者が増え、予算上に余裕が出てきた際は改めてご検討いただきたい。

### 次回実行委員会の日程について

(事務局)

次回の実行委員会について、8月19、21、22日の午前午後いずれかを想定。会場にてスケジュール確認のうえ、欠席者の意向も調査し後日決定、通知する。